第54回特殊教育学会　自主シンポジウム80
知的障害教育における「育成すべき資質・能力」を育むためのアクティブ・ラーニング

課題解決のためにアクティブに思考し，アクティブに関わり合う授業を目指して

鹿児島大学教育学部附属特別支援学校

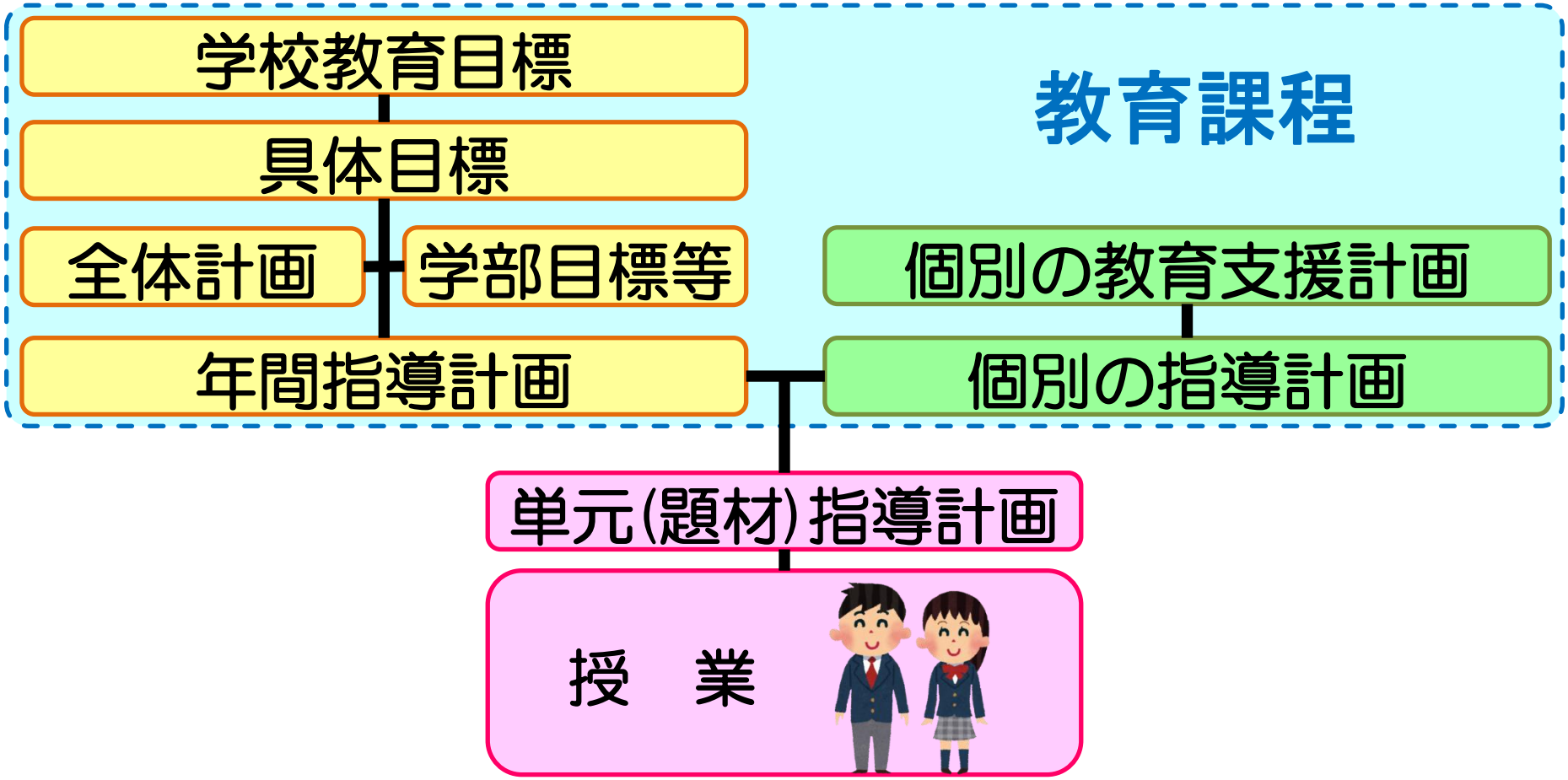
上仮屋　祐介

本校の概要（学校教育目標と教育課程）

学校教育目標

自分のもつ能力や可能性を最大限に伸ばし，共に生きる力を身に付け，家庭生活や社会生活を可能な限り自立的に営み，社会参加できる人間性豊かな児童生徒を育成する。

本校の教育課程の構造

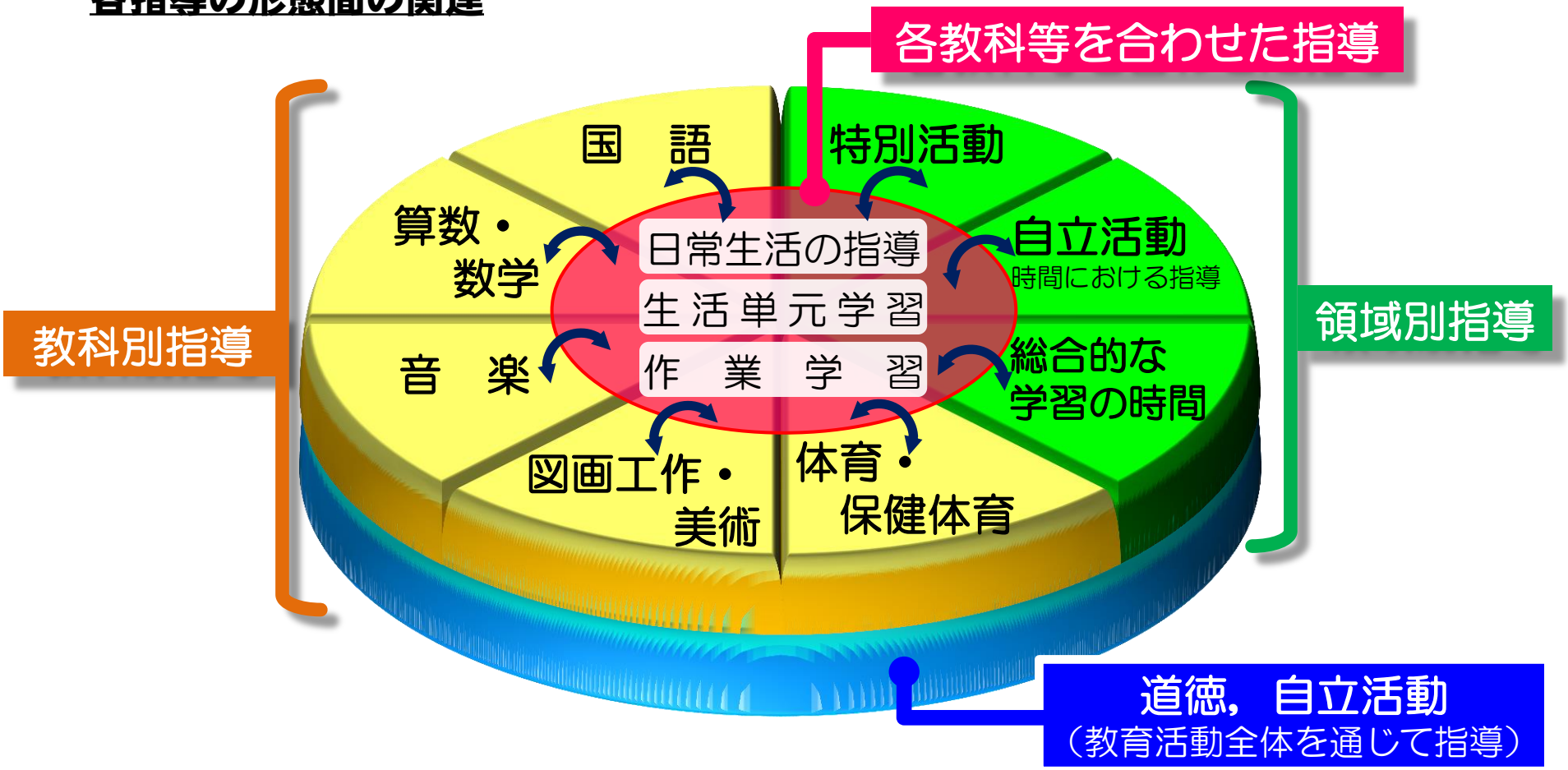


本校の概要（学校教育目標と教育課程）

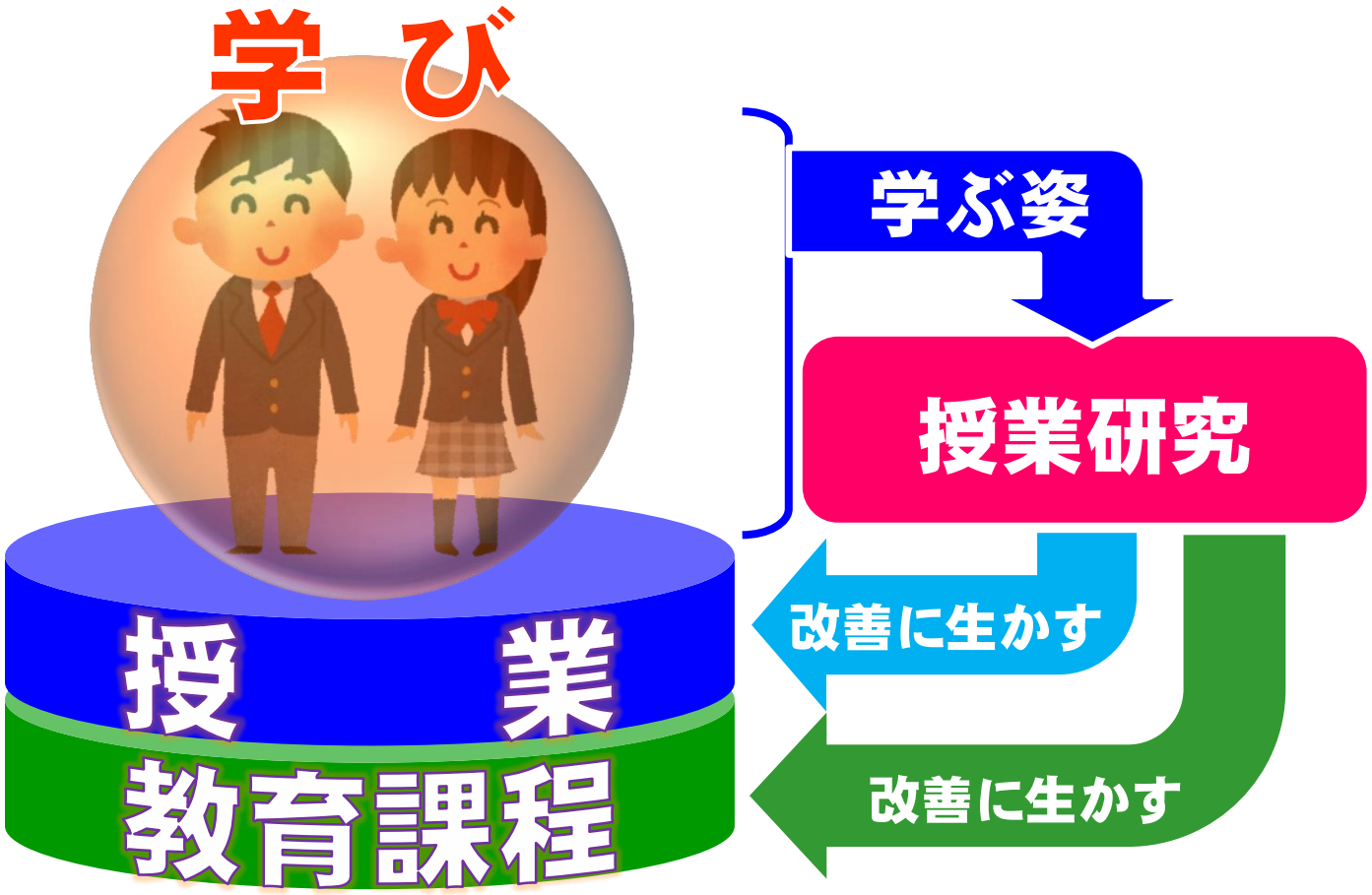
学校教育目標

自分のもつ能力や可能性を最大限に伸ばし，共に生きる力を身に付け，家庭生活や社会生活を可能な限り自立的に営み，社会参加できる人間性豊かな児童生徒を育成する。

各指導の形態間の関連



私たちが目指していること（学校研究との関連）



〈H27年度～〉

〈H25年度～〉
教育課程の改善
「何を」教えるか

＋

〈H23～24年度〉
日々の授業改善
「どのように」教えるか

本校の児童生徒に育てたい力

＜児童生徒に育てたい力の整理＞

＜学校教育目標等に示されている児童生徒に育てたい力＞

- ○ 学校教育目標
- ○ 具体目標
- ○ 全体計画

＜児童生徒が，これからの時代を生きていくために必要と思われる力＞

- ○ 教師自身の目指す生徒像（アンケートの実施）
- ○ 教育に関する今日的動向（学習指導要領改訂の動向等）
- ○ これまでの本校の研究から

整理・検討

↓

児童生徒に育てたい資質・能力

本校の児童生徒に育てたい力

児童生徒に育てたい資質・能力

【基礎・基本】 一人一人が各教科等における基礎的・基本的な知識や技能を身に付ける（分ったり，できるようになったりする）こと	各教科等における基礎・基本
【主体性】 一人一人が学習の主体者として，進んで学習活動等に取り組むこと **【思考・判断・表現】** 一人一人が，今やこれまでの学習で身に付けた力を適切に選択したり，組み合わせたりしながら思考，判断して，課題を解決し，それを自分なりの方法で表現していること **【人間関係】** 共に学ぶ仲間と適切に関わりながら学習活動に参加することや，学習活動を通して一人一人が身に付けている力を発揮し合いながら課題を解決したり，互いの力を更に高め合ったりすること	汎用的能力

高等部　国語科

＜題材名＞

いろいろな文章に親しもう

～説明文・記録文～

＜学習集団(グループ)について＞

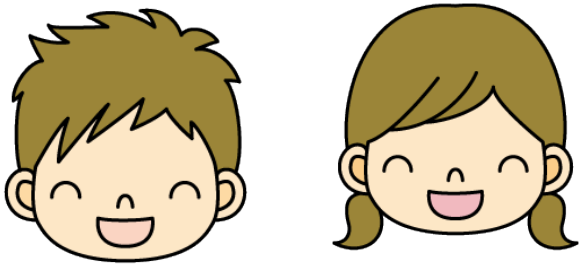
高等部１年～３年生　８人（男子５人，女子３人）

- 自閉症スペクトラム障害（７人）
- ダウン症候群（１人）

＜それまでの学習や学校生活などで見られた姿＞

○

できるようになってきたこと



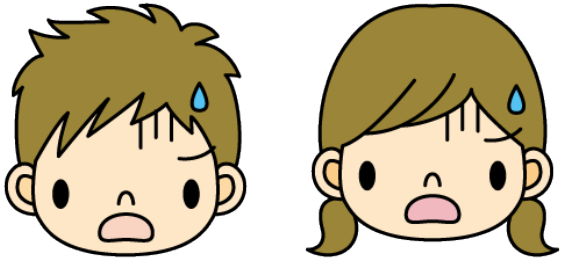
文章を，「はじめ－なか－おわり」の内容に整理して書くことができるようになってきた。

擬音語や擬態語，比喩などを用いて，表現を工夫しながら作文や日記を書くことができるようになってきた。

＜それまでの学習や学校生活などで見られた姿＞

△

難しいこと（→できるようになってほしいこと）



作業学習で工程に沿って作業はできるが，他者から説明を求められると，**順序立てて説明**したり，**簡潔に伝えたり**することが難しかった。

調べ学習の際に，図書資料やWebページを使って，必要な情報が記載してある部分を検索することはできるが，**キーワードを抜き出したり**，**内容を要約**したりすることが難しい。

生徒の実態

年間指導計画

題材の構想（題材指導計画の作成）

授業計画シート（ver.1）

学部	教科等名	学習集団（グループ名等）	題材名	総時数（実施時期）
小・中 (高)	国語	Dグループ	いろいろな文章に親しもうⅡ ～説明文・記録文～	１０時間（９月～１０月）

題材の全体目標
・ 友達と一緒に説明文の要点等をまとめる活動を通して，説明文の内容を読み取ったり，簡潔に説明したりすることができる。
・ 説明文の読み取り方について学習したこと等を生かして，自分で集めた情報を整理し，相手に分かりやすく伝えることができる。

児童生徒名	個人目標	児童生徒名	個人目標
HK	・ 正しく音読し，線を引いた中心文や接続詞を手掛かりにして段落の要点をまとめて小見出しを付けたり，三段構成に内容を整理したりすることで，段落や接続詞の役割を理解することができる。 ・ 図書資料等で得た情報を三段構成表に整理し，接続詞を正しく使って文章を順序立てて構成して書くことができる。	OR	・ 段落番号を付け，中心文の語句を使って要点をまとめて小見出しを付けたり，接続詞や段落の前後の内容を手掛かりに文章全体を三段構成に整理したりすることで，段落や接続詞の役割を理解することができる。 ・ 図書資料等で得た情報を基に，書く内容を項目で三段構成表に整理することで，接続詞を使って順序立てて段落を構成し，簡潔な文章でまとめることができる。
MN	・ 段落番号を付け，友達と一緒に中心文や接続詞を考えて選ぶことで，要点をまとめて小見出しを付けたり，内容の似ている段落を三段構成にまとめたりして段落や接続詞の役割を理解することができる。 ・ 「まず，次に，さらに」などの接続詞の順序性を事前に確認したり，書く内容を三段構成表に整理したりすることで，得た情報を順序立てて構成して文章を書くことができる。	YR	・ 段落ごとに正しく音読したり，範読を聞いたりしてから段落の要点をまとめて小見出しを付けたり，接続詞や段落の前後の内容を手掛かりに文章全体を三段構成に整理したりすることで，段落や接続詞の役割を理解することができる。 ・ 声に出して正しく読むことで得た情報の理解を深め，三段構成表に書く内容を整理することで，順序立てて段落を構成して文章を書くことができる。
IN	・ 段落ごとの内容を読み取って付けた小見出しや接続詞を手掛かりにして三段構成に内容を整理することで，段落や接続詞の役割を理解することができる。 ・ 分からない言葉や語句の意味を辞書で調べるなどして書かれている情報を理解し，接続詞を正しく使って順序立てて文章を構成することができる。	CI	・ 友達と一緒に中心文を考えて選び，中心文の語句を使って要点をまとめて小見出しを付けたり，接続詞や段落前後の内容を手掛かりに文章全体を三段構成に整理したりすることで，段落や接続詞の役割を理解することができる。 ・ 図書資料等で得た情報を基に，接続詞を使って順序立てて段落を構成し，簡潔な文章でまとめることができる。
HM	・ 中心文を選んで段落の要点をまとめて小見出しを付けたり，接続詞や段落の前後の意味を手掛かりに文章全体を三段構成に整理したりすることで，段落や接続詞の役割を理解することができる。 ・ 図書資料等で得た情報を基に，三段構成表に書く内容を項立てすることで，接続詞を正しく使って順序立てて文章にしてまとめることができる。	IH	・ 段落の中心文を選び，要点をまとめたり小見出しを付けたりして，接続詞や段落の前後の内容を手掛かりに文章全体を三段構成に整理したりすることで，段落や接続詞の役割を理解することができる。 ・ 図書資料等で得た情報を基に，三段構成表に書く内容を整理して簡潔に文章をまとめ，接続詞を正しく使って順序立てて文章を書くことができる。

指導計画

指導内容	次	時数	学習活動	学習活動を通して育む力
【HK・YR】 説明文を声に出して正しく読む。 ＜読む：中＞ 【HK・HM・CI・IH】 必要な情報が書かれている箇所を見付け線を引く。＜読む：高－２＞ 【全員】 段落に書かれている内容からキーワードに線を引き，段落に小見出しを付ける。＜読む：高－２＞ 【全員】 「はじめ」，「なか」，「おわり」の項目に沿って必要な情報を読み取る。＜読む：中＞ 【全員】 読んだ段落の内容を要約する。＜読む：高－２＞	一	5	1 「すがたをかえる大豆」のおおまかな内容を読み取る。 (1) 教材を読み，各段落の行頭の言葉に着目して「はじめ－なか－おわり」に内容を分ける。 (2) 「はじめ」，「なか」，「おわり」にどのようなことが書かれているか調べ，おおまかな内容を読み取る。 2 各段落に書かれている内容を読み取り，三段構成に再度整理する。 (1) 各段落を読み，要点をまとめたり小見出しを付けたりする。 (2) 各段落に書かれている内容を三段構成に整理する。 3 段落ごとの説明の仕方や工夫について考え，分かりやすい文の書き方について知る。 (1) 段落の行頭に書かれているつなぎ言葉や写真の役割について考える。	主体性 ・ 学習の内容や流れを把握する。 思考・判断 ・ 前題材で学習した三段構成を想起して分ける。 ・ 中心文，要点，小見出しをまとめる。 人間関係 ・ 友達と話し合って中心文を選び，要点をまとめて小見出しを付ける。 ・ お互いの意見を尊重する。
【IN】 分からない言葉や漢字などを辞書で調べる。＜読む：高－１＞ 【YR】 声に出して正しく読む。 ＜読む：中＞ 【MN】 接続詞を使って，段落を構成する。 ＜書く：中＞ 【HM・CI・IH・OR】 得た情報を順序立てて文章にまとめる。 ＜書く：高－1＞ 【OR】 三段構成表に項目を立ててから書く内容を整理して文章を書く。 ＜書く：高－1＞ 【全員】 調べた情報を要約する。＜読む：高－２＞	二	4	4 「すがたをかえる大豆」を参考にして食品について調べ，「○○BOOK」を作る。 (1) 調べる食品を選ぶ。 米・牛乳・とうもろこし・麦・魚・芋から一つ選ぶ。 (2) 選んだ食品について，図書資料やインターネットで調べる。 (3) 調べたことを基にして三段構成表に書く内容を整理する。 (4) 整理した内容を基に段落を構成して，接続詞を使い順序立てて文章を書く。	主体性 ・ 自分の好きな食品について選択し，調べる。 思考・判断 ・ 前題材で学習を生かして三段構成表に書く内容を整理する。 ・ 一次で学習した段落や接続詞を使って三段構成で文章を書くこと。
【YR】 声に出して正しく読む。 ＜読む：中＞ 【HM・IH・OR】 内容に関する自分の意見や感想を述べる。＜書く：高－２＞＜話す：高－２＞	三	1	5 調べてまとめた文章を読んで感想を発表し合う。 (1) 自分の書いた文章を発表したり，友達の文章を聞いたりする。 (2) 説明の工夫や，分かりやすかったところなどを踏まえて感想を発表する。	主体性 ・ まとめた文章を友達に発表する。 思考・判断 ・ まとめた内容に沿って友達に発表する。 人間関係 ・ 自分の意見を伝えたり，友達の意見を聞いたりする。

＜本校の題材計画シートについて＞

→　前出の「本校の児童生徒に育てたい資質・能力」を，授業を通して育てることを意識できるような書式になっています。

授業計画シート（ver.1）

学部	教科等名	学習集団（グループ名等）	題材名	総時数（実施時期）
小・中 (高)	国語	Dグループ	いろいろな文章に親しもうⅡ ～説明文・記録文～	１０時間（９月～１０月）

題材の全体目標
・　友達と一緒に説明文の要点等をまとめる活動を通して，説明文の内容を読み取ったり，簡潔に説明したりすることができる。
・　説明文の読み取り方について学習したこと等を生かして，自分で集めた情報を整理し，相手に分かりやすく伝えることができる。

児童生徒名	個人目標	児童生徒名	個人目標
HK	・　正しく音読し，線を引いた中心文や接続詞を手掛かりにして段落の要点をまとめて小見出しを付けたり，三段構成に内容を整理したりすることで，段落や接続詞の役割を理解することができる。 ・　図書資料等で得た情報を三段構成表に整理し，接続詞を正しく使って文章を順序立てて構成して書くことができる。	OR	・　段落番号を付け，中心文の語句を使って要点をまとめて小見出しを付けたり，接続詞や段落の前後の内容を手掛かりに文章全体を三段構成に整理したりすることで，段落や接続詞の役割を理解することができる。 ・　図書資料等で得た情報を基に，書く内容を項目で三段構成表に整理することで，接続詞を使って順序立てて段落を構成し，簡潔な文章でまとめることができる。
MN	・　段落番号を付け，友達と一緒に中心文や接続詞を考えて選ぶことで，要点をまとめて小見出しを付けたり，内容が似ている段落を三段構成にまとめたりして段落や接続詞の役割を理解することができる。 ・　「まず，次に，さらに」などの接続詞の順序性を事前に確認したり，書く内容を三段構成表に整理したりすることで，得た情報を順序立てて構成して文章を書くことができる。	YR	・　段落ごとに正しく音読したり，範読を聞いたりしてから段落の要点をまとめて小見出しを付けたり，接続詞や段落の前後の内容を手掛かりに文章全体を三段構成に整理したりすることで，段落や接続詞の役割を理解することができる。 ・　声に出して正しく読むことで得た情報の理解を深め，三段構成表に書く内容を整理することで，順序立てて段落を構成して文章を書くことができる。
IN	・　段落ごとの内容を読み取って付けた小見出しや接続詞を手掛かりにして三段構成に内容を整理することで，段落や接続詞の役割を理解することができる。 ・　分からない漢字や語句の意味を辞書で調べるなどして書かれている情報を理解し，接続詞を正しく使って順序立てて文章を構成することができる。	CI	・　友達と一緒に中心文を考えて選び，中心文の語句を使って要点をまとめて小見出しを付けたり，接続詞や段落前後の内容を手掛かりに文章全体を三段構成に整理したりすることで，段落や接続詞の役割を理解することができる。 ・　図書資料等で得た情報を基に，接続詞を使って順序立てて段落を構成し，簡潔な文章でまとめることができる。
HM	・　中心文を選んで段落の要点をまとめて小見出しを付けたり，接続詞や段落の前後の意味を手掛かりに文章全体を三段構成に整理したりすることで，段落や接続詞の役割を理解することができる。 ・　図書資料等で得た情報を基に，三段構成表に書く内容を項立てすることで，接続詞を正しく使って順序立てて文章にしてまとめることができる。	IH	・　段落の中心文を選び，要点をまとめて小見出しを付けたりして，接続詞や段落の前後の内容を手掛かりに文章全体を三段構成に整理したりすることで，段落や接続詞の役割を理解することができる。 ・　図書資料等で得た情報を基に，三段構成表に書く内容を整理して簡潔に文章をまとめ，接続詞を正しく使って順序立てて文章を書くことができる。

指導計画

指導内容	時数	学習活動	学習活動を通して育む力
【HK・YR】　説明文を声に出して正しく読む。　<読む：中> 【HK・HM・CI・IH】　必要な情報が書かれている箇所を見付け線を引く。<読む：高－２> 【全員】　段落に書かれている内容からキーワードに線を引き，段落に小見出しを付ける。<読む：高－２> 【全員】　「はじめ」，「なか」，「おわり」の項目に沿って必要な情報を読み取る。<読む：中> 【全員】　読んだ段落の内容を要約する。<読む：高－２>	5	1　「すがたをかえる大豆」のおおまかな内容を読み取る。 ①　教材を読み，各段落の行頭の言葉に着目して「はじめ－なか－おわり」に内容を分ける。 「はじめ」，「なか」，「おわり」にどのようなことが書かれているか調べ，おおまかな内容を読み取る。 2　各段落に書かれている内容を読み取り，三段構成に再度整理する。 ①　各段落を読み，要点をまとめたり小見出しを付けたりする。 ②　各段落に書かれている内容を三段構成に整理する。 3　段落ごとの説明の仕方や工夫について考え，分かりやすい文の書き方について知る。 ①　段落の行頭に書かれているつなぎ言葉や写真の役割について考える。	主体性 ・　学習の内容や流れを把握する。 思考・判断 ・　[illegible]した三段構成を想起して分ける ・　中心文，要点，小見出しをまとめる。 人間関係 ・　友達と話し合って中心文を選び，要点をまとめて小見出しを付ける。 ・　お互いの意見を尊重する。
【IN】　[illegible] 【YR】　[illegible] 【MN】　[illegible] 【HM・[illegible]】　[illegible] 【OR】　三段構成表に項目を立て[illegible]して文章[illegible] 【全員】　調べた情報を要約する。[illegible]	4	4　「すがたをかえる大豆」を参考にして食品について調べ，「○○BOOK」を作る。 ①　調べる食品を選ぶ。 米・牛乳・とうもろ[illegible] ②　選んだ食品について[illegible] ③　調べたことを基に[illegible] ④　整理した内容を基に[illegible]	[illegible]分の好きな食品について選択し調べる。 [illegible]判断 [illegible]で学習して三段[illegible]書く内容を整理する。 [illegible]で学習した段落や接続[illegible]三段構成で文章を書くこと[illegible]
【YR】　声に出して正しく読む。　<読む：中> 【HM・IH・OR】　内容に関する自分の意見や感想を述べる。<書く：高－２><話す：高－２>	1	5　調べてまとめた文章を読んで感想を発表し合う。 ①　自分の書いた文章を発表したり，友達の文章を聞いたりする。 ②　説明の工夫や，分かりやすかったところなどを踏まえて感想を発表する。	主体性 ・　まとめた文章を友達に発表する。 思考・判断 ・　まとめた内容に沿って友達に発表する。 人間関係 ・　自分の意見を伝えたり，友達の意見を聞いたりする。

教科として教えたいこと（基礎・基本）

具体的な学習活動

育てたい汎用的能力

＜題材の目標（本校の児童生徒に育てたい資質・能力との関係）＞

○　友達と一緒に説明文の要点等を確認する活動を通して，説明文の内容を読み取ったり，簡潔に説明したりすることができる。

説明文の内容を読み取る，説明する
⇒「教科としての目標（基礎・基本）」

友達と一緒に課題解決
⇒　「人間関係」，「思考･判断･表現」，「主体性」

○　説明文の読み取り方について学習したこと等を生かして，自分で集めた情報を整理し，相手に分かりやすく伝えることができる。

相手に分かりやすいように情報（内容）をまとめる
⇒「教科としての目標（基礎・基本）」

内容のまとめ方を自分なりに考えて，実践する
⇒　「思考･判断･表現」，「主体性」

＜題材の構成（学習活動設定の工夫）＞

学習したことを基に**考え，判断し，表現する機会**の設定。

次（時数）	学習内容・学習活動
一次 （1～5）	①　教材文を読み，各段落の要点をまとめたり，小見出しを付けたりする。 ②　各段落の要点を基に，全体を三段落構成に分ける。 ③　説明文の構成を振り返り，分かりやすい文章のまとめ方を確認する。
二次 （6～9）	④　身近な食材の加工方法等について，図書資料やWebページなどから必要な情報を収集・整理する。 ⑤　収集・整理した情報を基に，三段落構成になるように簡単な説明文にまとめる。
三次 （10～11）	⑥　各自が書いた説明文を発表したり，互いに評価し合ったりする。

＜基礎・基本の習得＞
説明文の構成や内容の読み取り方などを学習する。

＜学習したことを使う＞
一次で学習したことを生かして，自分で集めた情報を整理する。

＜学習したことを使う＞
一次で学習したことを踏まえて分かりやすくまとめてあるか評価し合う。

学習したことを繰り返し使う → **学習したことの定着**

＜題材の構成（学習活動設定の工夫）＞

友達と課題を共有し，**協力・協働**する機会の設定。

次（時数）	学習内容・学習活動
一次 （1～5）	①　教材文を読み，各段落の要点をまとめたり，小見出しを付けたりする。 ②　各段落の要点を基に，全体を三段落構成に分ける。 ③　説明文の構成を振り返り，分かりやすい文章のまとめ方を確認する。
二次 （6～9）	④　身近な食材の加工方法等について，図書資料やWebページなどから必要な情報を収集・整理する。 ⑤　収集・整理した情報を基に，三段落構成になるように簡単な説明文にまとめる。
三次 （10～11）	⑥　各自が書いた説明文を発表したり，互いに評価し合ったりする。

各段落の要点や小見出しを友達と確認し合う。

友達と協力して必要な情報を集める。

友達が書いた説明文を評価し合う。

- 自分の考えを友達に伝える → **伝えるために考える**
- 説明文を評価し合う → **友達の作品から学ぶ**

アクティブ・ラーニング型授業の実践（授業の実際）

次（時数）	学習内容・学習活動
一次 （1～5）	①　教材文を読み，各段落の要点をまとめたり，小見出しを付けたりする。 ②　各段落の要点を基に，全体を三段落構成に分ける。 ③　説明文の構成を振り返り，分かりやすい文章のまとめ方を確認する。
二次 （6～9）	④　身近な食材の加工方法等について，図書資料やWebページなどから必要な情報を収集・整理する。 ⑤　収集・整理した情報を基に，三段落構成になるように簡単な説明文にまとめる。
三次 （10～11）	⑥　各自が書いた説明文を発表したり，互いに評価し合ったりする。

紹介する授業

教材文※の各段落の内容を簡潔にまとめる学習

※　教材文「すがたをかえる大豆」
（出典：国分牧衛　作「小学校３年国語下」，光村図書出版）

アクティブ・ラーニング型授業の実践（授業の実際／Before）

〈授業目標〉

「中心文」，「要点」，「小見出し」に関する説明や手順表を手掛かりにして，友達と一緒に段落の内容をまとめることができる。

＜評価の観点＞

既習内容を基に段落の内容をまとめることができたか？

＜期待する生徒の姿＞

「中心文」，「要点」，「小見出し」に関する説明や手順表を使って学習活動に取り組む姿。

友達と協働して課題解決に取り組むことができたか？

＜期待する生徒の姿＞

既習内容や資料等を友達と一緒に使って段落の内容をまとめる（まとめよう）とする姿。

このような　学習過程を通して

「説明文の段落の内容を簡潔にまとめることができる。」

という本時の目標に迫ってほしい（学びを深めてほしい）！！

アクティブ・ラーニング型授業の実践（授業の実際／Before）

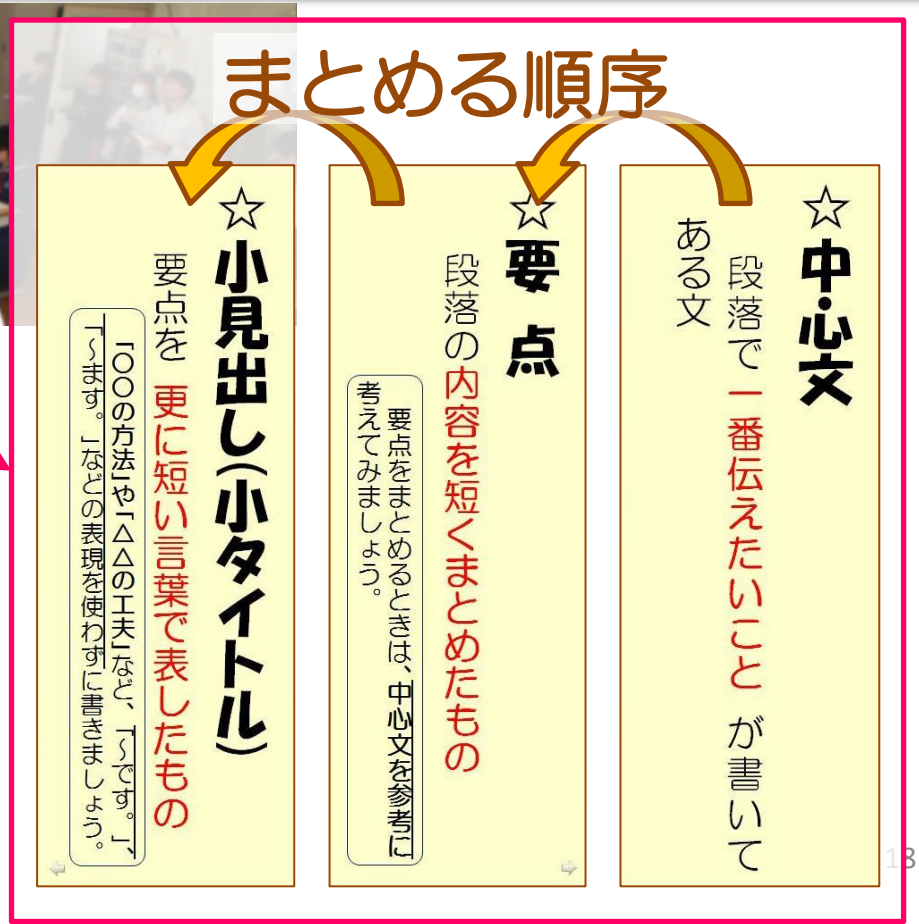
〈主体的で深い学びとの関連（具体的な手立て）〉

既習内容を基に段落の内容をまとめることができたか？

＜期待する生徒の姿＞

「中心文」，「要点」，「小見出し」に関する説明や手順表を使って学習活動に取り組む姿。

学習したことをいつでも確認できるようにした。



アクティブ・ラーニング型授業の実践（授業の実際／Before）

〈主体的で深い学びとの関連（具体的な手立て）〉

既習内容を基に段落の内容をまとめることができたか？

＜期待する生徒の姿＞

「中心文」，「要点」，「小見出し」に関する説明や手順表を使って学習活動に取り組む姿。

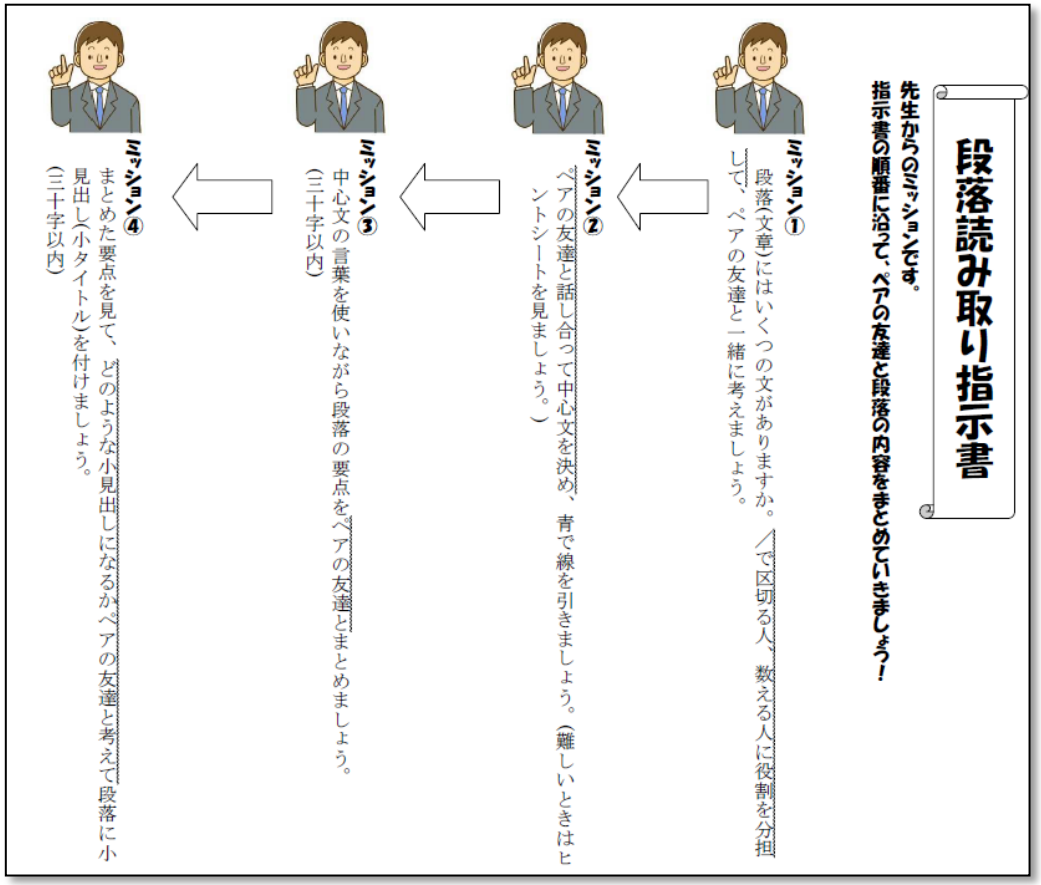
学習（思考）のプロセスを可視化

※前スライドの手立ても含めて

↓

今まで学習してきたこと（「中心文とは」，「要点とは」，「小見出しとは」など）を，どのように使ってまとめればいいか知る。

（学び方を知る／学びに見通しをもつ）



段落読み取り指示書

先生からのミッションです。
指示書の順番に沿って、ペアの友達と段落の内容をまとめていきましょう！

ミッション①
段落（文章）にはいくつの文がありますか。／で区切る人、数える人に役割を分担して、ペアの友達と一緒に考えましょう。

ミッション②
ペアの友達と話し合って中心文を決め、青で線を引きましょう。（難しいときはヒントシートを見ましょう。）

ミッション③
中心文の言葉を使いながら段落の要点をペアの友達とまとめましょう。（三十字以内）

ミッション④
まとめた要点を見て、どのような小見出しになるかペアの友達と考えて段落に小見出し（小タイトル）を付けましょう。（三十字以内）

アクティブ・ラーニング型授業の実践（授業の実際／Before）

〈対話的で深い学びとの関連（具体的な手立て）〉

友達と協働して課題解決に取り組むことができたか？

＜期待する生徒の姿＞

既習内容や資料等を友達と一緒に使って段落の内容をまとめる（まとめよう）とする姿。

一つの教材・教具を友達と一緒に使う。

↓

目的や情報を共有する。

↓

教材・教具を媒介にして，考えを伝え合う。

アクティブ・ラーニング型授業の実践（授業の実際／Before）

〈生徒の学びの姿〉

- 「中心文」，「要点」，「小見出し」の**説明や手順書を手掛かりにして，友達と内容をまとめることができる**生徒（ペア）がいた。
- **教材文を指さして，友達と確認しながら**内容をまとめようをしている生徒（ペア）がいた。

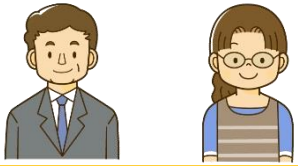
- 「中心文を探す」→「要点をまとめる」→「小見出しを付ける」という**手順に沿って内容をまとめることが難しい**生徒（ペア）がいた。
- 要点をまとめたり，小見出しを付けることができたが，**段落の内容を正しく**（大豆がどのようにどのように加工されたか）**理解することが難しい**生徒（ペア）がいた。

このような生徒の学びの姿に基づいて授業研究を行った。

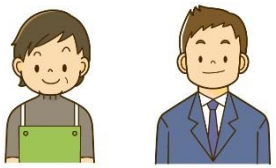
アクティブ・ラーニング型授業の実践（授業の実際／改善へ向けて）

〈日々の授業研究〉

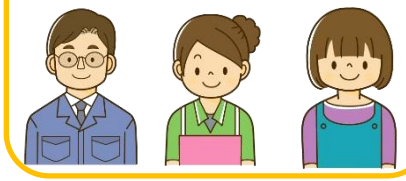
国語Aグループ



国語Bグループ



国語Cグループ



国語Dグループ

それぞれの学習グループで授業研究を実施

一緒に授業を行う担当者を中心に，**授業研究**（指導計画の検討や授業の評価，改善）を行う。

○　授業のたびにミーティングを実施した。

○　時間の目安は２０分。

アクティブ・ラーニング型授業の実践（授業の実際／After）

前時からの改善案

○　内容をまとめるための手順をもっと具体的に示す必要がある。

⇒　はじめに教師が演示してみよう!!

○　内容までしっかり理解できているか確認する必要がある。

⇒　段落の内容を写真カード等で説明（再構成）する活動を設定しよう!!

アクティブ・ラーニング型授業の実践（授業の実際／After ）

主な学習活動（展開部分）

○　教師の演示を見て，段落の内容のまとめ方を確認する。

↓

○　ペアの友達と担当する段落の内容をまとめる。

↓

○　ペアでまとめたことを発表する。

- 「中心文」，「要点」，「小見出し」を発表する。
- 　各ペアで相互に確認し合う。
- 　各段落に書いてある内容を写真カード等を使って説明する。

さらに，教師の演示を見ることで，ペアの友達と意見を交わしながら要点等をまとめる手順を知る。

（学び方を知る／学びに見通しをもつ）

アクティブ・ラーニング型授業の実践（授業の実際／After ）

主な学習活動（展開部分）

○　教師の演示を見て，段落の内容のまとめ方を確認する。

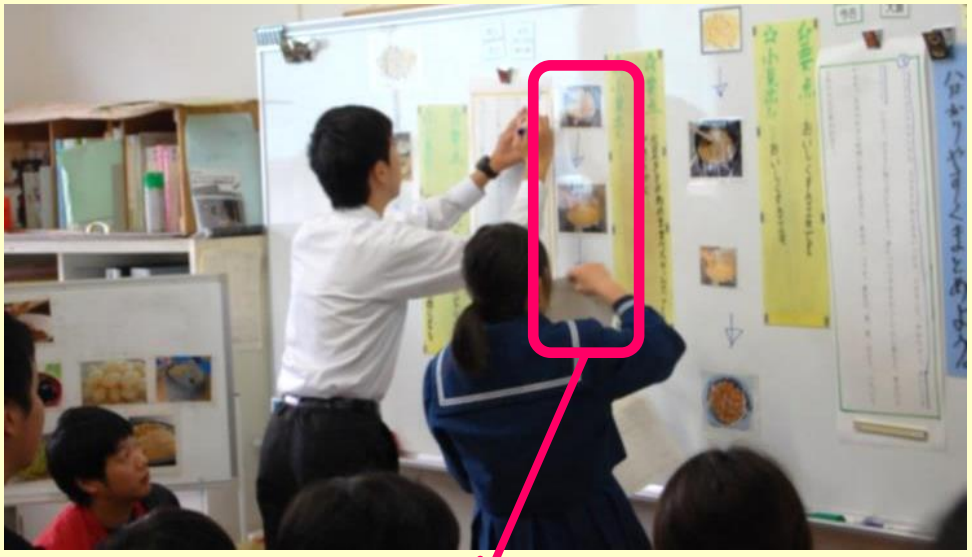
↓

○　ペアの友達と担当する段落の内容をまとめる。

↓

○　ペアでまとめたことを発表する。

- 「中心文」，「要点」，「小見出し」を発表する。
- **各ペアで相互に確認し合う。**
- **各段落に書いてある内容を写真カード等を使って説明する。**



大豆がどのように加工されていくのか，段落の内容に沿って写真カードを並び替える。

まとめたことを発表 ⬇ 自分の考えを再構成

友達の意見を聞く ⬇ 自他の考えを比較 友達の考えから学ぶ

本実践と通した成果と課題

成果

手順書等を手掛かりにして**学習したことを繰り返し使って**学習する

「学習したこと」や「思考のプロセス」の可視化

少しずつ**学習内容が定着**してくる

～学びの姿の変容～

- **手順書等がなくても**内容をまとめることが**できるようになった**。
- 友達の発表を聞いて，**自分の考えと違うところを指摘できる**ようになった。

本実践と通した成果と課題

成果

友達と一緒に課題解決に取り組む。

協働する機会
協働の仕方を示す

～学びの姿の変容～

- 自分の考えを友達に伝えるために，**自分なりの言葉で表現しようと考える姿**が見られるようになった。
- **友達の発表内容に関心をもって聞く**ことができるようになってきた。
- 友達の考えを知ることで，**「なるほど」と納得したり，「なぜ」と考える姿**が見られるようになった。

本実践と通した成果と課題

課題

- 学習活動にとても時間が掛かる。

⇒　授業時数との関連

- 提示する情報（既習内容等）の調整が難しい。

⇒　事前のアセスメントが重要

※　これまでの学習経験含む

- 学習活動を設定する際のアイデア。

⇒　校内研修（授業研究）の有効活用

⇒　学校組織としての知見の蓄積

※　年間指導計画等の評価・改善